

行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	働く障害者からのメッセージ発信事業		担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度(開始)・終了年度未定		担当課室	地域就労支援室		地域就労支援室長		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-1-3 高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令(具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者又はその家族等に対して就労への理解を深めるために民間団体等に委託し、障害者本人及び家族等を対象とした講習会の開催などに取り組むことにより、働く障害者を支援する支援するネットワークを構築、強化するとともに、障害者が働くことへの関係者等の意識を改革し、障害者の職業的自立を促進する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	障害者本人及び家族等を対象とした講習会や職業的自立に向けた講習会、経験交流会の開催、メッセージ集の作成・配布、ピアカウンセラーによる相談等を行うことにより、障害者又はその家族、支援関係者の「働く」ことへの理解を深め、障害者の職業的自立を促進する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	32	28	26	25	22	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	32	28	26	25	22	
	執行額		31	25	15			
執行率(%)		97	89	58				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	セミナー参加者数 1,400人以上		成果実績	件	2,366	2,138	1,602	1400
			達成度	%	102	101	114	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	セミナー開催件数 12件		活動実績	人	17	16	11	-
			(当初見込み)		(12)	(12)	(12)	
単位当たりコスト	1.4百万円 (執行額/セミナー開催件数)		算出根拠	15百万円(執行額)÷11名(セミナー開催件数)=1.4百万円				
平成23・24年度	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委託費	25	22	実績を踏まえ、予算の効率化を図ったため				
	計	25	22					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は調達コスト削減のために平成22年度から一般競争入札(最低価格落札方式)により調達。 本事業は事業委託契約書に基づく委託事業実施結果報告書及び精算報告書により実施状況を把握。 また、担当課の担当者が年に1度経理監査を行い受託者の委託費の適正な執行状況を確認。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	働く障害者からのメッセージ発信事業は、執行状況を予算要求に反映すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
事業実績を踏まえ予算の効率化を図った。(▲4百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

(働く知的障害者からのメッセージ発信事

厚労省

(障害者及びその家族に対する意識啓発等)

【一般競争入札】

A テンプスタッフフロンティア株式会
社

- ・セミナー開催経費
- ・ピアカウンセラーによる相談支援

(働く精神障害者からのメッセージ発信事

厚労省

(障害者及びその家族に対する意識啓発等)

【一般競争入札】

C 特定非営利活動法人全国精神障害者就労支援事業所
連合会
8百万円

- ・セミナー開催経費
- ・ピアカウンセラーによる相談支援

(働く身体障害者からのメッセージ発信事業)

厚労省

(障害者及びその家族に対する意識啓発等)

【一般競争入札】

B テンプスタッフフロンティア株式会社
2百万円

- ・セミナー開催経費
- ・職業的自立支援に係る相談支援

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方 で実情が分かるように記載)	A. テンプスタッフフロンティア(株)			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	セミナー開催経費等	5			
	計		5	計		0
	B. テンプスタッフフロンティア(株)			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	セミナー開催経費等	2			
	計		2	計		0
	C. (NPO)全国精神障害者就労支援事業所連合会			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	セミナー開催経費等	8			
	計		8	計		0
	D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	テンプスタッフフロンティア(株)	障害者及びその家族に対する意識啓発等	5	2	95.9%

B.

1	テンプスタッフフロンティア(株)	障害者及びその家族に対する意識啓発等	2	2	55.2%
---	------------------	--------------------	---	---	-------

C.

1	(NPO)全国精神障害者 就労支援事業所連合会	障害者及びその家族に対する意識啓発等	8	2	92.5%
---	----------------------------	--------------------	---	---	-------